

# コンクリート面及び押出成形セメント板面

## 7章7節:アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) ビルデック (標準仕様)

公共仕様No.  
DNT-改修・7-4-02

### 使用材料一覧表

規格 一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1 JIS K 5670 アクリル樹脂系非水分散形塗料	ビルデック	F☆☆☆☆	塗料用シンナー

### 塗装仕様

表7.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整【RB種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1 既存塗膜の除去	-			ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化しぜい弱な部分を除去する。
2 汚れ、付着物除去	-			素地を傷付けないようにワイヤブラシ等により、除去する。
3 ひび割れ部の補修	-			特記による。
4 下地調整塗り	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1又はC-2	既存の塗膜の除去部分の不陸を調整する。
	JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	耐水形	
5 吸込止め	JASS 18 M-201	反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー	-	全面に塗り付ける。

- (注) 1.押出成形セメント板面の場合は、工程4を省略する。  
 2.工程5のシーラー及び工程6のパテの塗料は、上塗り塗料製造所の指定するものとする。  
 3.新規に塗装を行う場合は、RA種(ただし、新規材料面に耐候性塗料塗り以外の塗装を行う場合はRB種)とし、工程1に代えて素地を十分に乾燥させて、工程3を省略する。  
 4.JASS 18 M-201は、日本建築学会材料規格である。  
 5.屋内で現場塗装する場合、工程5の吸込止めのパテしごきに使用する材料は、上塗り塗料製造所の指定する水性塗料とする。

表7.7.1 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り【B種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20℃)
1 下塗り	ビルデック	各色	-	5~10	刷毛 ローラー	0.10	2時間以上
				20~30	スプレー		
3 上塗り	ビルデック	各色	-	5~10	刷毛 ローラー	0.10	-
				20~30	スプレー		

- (注) 1.下地調整の種類は、塗料その他の欄による。  
 2.モルタル面の下地調整は、表7.2.4によるRB種とする。  
 3.コンクリート面の下地調整は、表7.2.5によるRB種とする。  
 4.押出成形セメント板面の下地調整は、表7.2.6によるRB種とする。

7.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整  
 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整は表7.2.6による。  
 ただし、種別は、塗り工法に応じた節の規定による。

7.7.2 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り  
 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗りは表7.7.1により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。

#### 注意事項

- \* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版に掲載されている数値です。  
 そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。  
 \* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。